

【子宮頸がん検診精度管理5指標】(令和4年度)

	単位 %	検診実施方法	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率	要精検率	精検受診率	子宮頸がん発見率 (浸潤癌+CIN3+AIS) ※	陽性反応適中度 (浸潤癌+CIN3+AIS) ※
市町	金沢市	集団	137,057	1,780	2.7	1.3	87.5	0.171	13.139
		個別		5,727	8.9	4.7	89.5	0.132	3.050
	七尾市	集団	13,360	390	6.5	0.5	100.0	0.189	21.429
		個別		233	3.9	4.5	83.3	0.145	3.333
	小松市	集団	29,986	977	4.6	0.5	87.5	0.163	22.414
		個別		4,035	20.2	4.9	93.1	0.115	2.375
	輪島市	集団	5,863	314	10.2	0.7	100.0	0.128	18.750
		個別		239	8.5	2.0	100.0	0.254	11.765
	珠洲市	集団	3,070	169	8.9	0.8	50.0	0.086	9.091
		個別		118	7.1	3.3	100.0	0.118	2.941
	加賀市	集団	17,820	1,054	8.7	0.5	85.7	0.112	14.754
		個別		1,414	12.4	4.7	91.3	0.116	2.601
	羽咋市	集団	5,481	436	12.6	0.7	75.0	0.034	6.667
		個別		191	6.4	1.4	100.0	0.144	4.545
	かほく市	集団	10,385	568	11.9	0.9	83.3	0.078	8.333
		個別		241	4.2	5.9	66.7	0.393	7.547
	白山市	集団	33,132	915	5.5	0.7	100.0	0.055	6.122
		個別		2,073	13.0	4.2	90.1	0.161	3.480
	能美市	集団	14,508	672	9.6	0.7	100.0	0.087	9.375
		個別		1,033	10.9	5.1	80.4	0.157	3.390
野々市市	集団	16,605	703	9.4	1.6	100.0	0.150	10.000	
	個別		1,121	13.6	4.6	86.5	0.200	3.468	
川北町	集団	1,789	135	12.9	1.8	100.0	0.000	0.000	
	個別		210	18.1	2.3	60.0	0.087	3.448	
津幡町	集団	11,687	554	10.4	1.1	100.0	0.091	7.895	
	個別		454	7.7	4.9	95.7	0.125	3.061	
内灘町	集団	7,999	567	9.7	0.3	0.0	0.027	3.571	
	個別		718	12.4	4.7	82.9	0.027	0.685	
志賀町	集団	4,844	463	14.6	0.0	-	0.051	10.526	
	個別		207	7.2	1.9	100.0	0.000	0.000	
宝達志水町	集団	3,399	204	12.6	0.4	100.0	0.141	11.765	
	個別		57	4.6	8.2	100.0	0.000	0.000	
中能登町	集団	4,519	355	13.5	0.4	50.0	0.000	0.000	
	個別		111	3.8	1.7	50.0	0.662	17.391	
穴水町	集団	1,809	128	10.1	0.0	-	0.000	0.000	
	個別		50	5.2	2.0	100.0	0.000	0.000	
能登町	集団	3,803	257	10.6	1.3	100.0	0.063	11.111	
	個別		132	6.9	2.1	66.7	0.238	6.452	
検診機関	成人病予防センター	集団	105,585	8,802	15.3	0.8	84.1	0.096	12.500
	予防医学協会	集団	105,585	1,838	3.3	0.8	70.6	0.091	11.765

- 「受診率」  
子宮頸がん検診の対象者のうち受診された方の割合です。高いことが望ましいとされています。
  - 「要精検率」：要精検者/全受診者  
受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、基準値は2.5%以下とされています。
  - 「精検受診率」：精検受診者/要精検者  
「要精密検査」とされた方のうち、実際に精密検査を受けられた方の割合で、精度評価の最も重要な指標と位置付けられています。高いことが望ましい値で基準値は90%以上とされています。
  - 「子宮頸がん発見率」：発見子宮頸がん患者 (CIN3以上) /全受診者 ※市町はH30～R4の5年平均  
受診された方のうち子宮頸がんが発見された方の割合で、基本的に高ければ高い方が望ましい指標です。基準値は0.15%以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、5年間の平均で算出してあります。
  - 「陽性反応適中度」：発見子宮頸がん患者 (CIN3以上) /要精検者 ※市町はH30～R4の5年平均  
検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に子宮頸がんがあった方の割合で、基準値は5.9%以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、5年間の平均で算出してあります。
- ※「精検受診率」は基準値を下回することは良くないとされていますが、それ以外の指標は、人口構成による違いや継続受診者の比率、喫煙者の比率などによっても大きな影響を受けるため、下回れば必ず問題があるとは言えません。
- また、「子宮頸がん発見率」「陽性反応適中度」は、小さな自治体では年度による変動が

※ 市町は地域保健・健康増進事業報告、検診機関は石川県生活習慣病管理指導協議会における課題検討結果報告による。  
 ※ 対象者数、受診者数、受診率は20～69歳、その他の指標は20歳以上を算定の対象としている。  
 子宮頸がん検診において「がん発見率」及び「陽性反応的中度」はCIN3以上(AIS含む)であった者を用いて算出することとされている。  
 ※ 市町のがん発見率と陽性反応適中度は5年平均で算出。  
 ※ 厚生労働省「がん検診のあり方に関する検討会報告書」がん検診事業のあり方について(令和5年6月)別添6に示された「20-74歳」の基準値を用いている。網掛けは基準値に達していない市町。